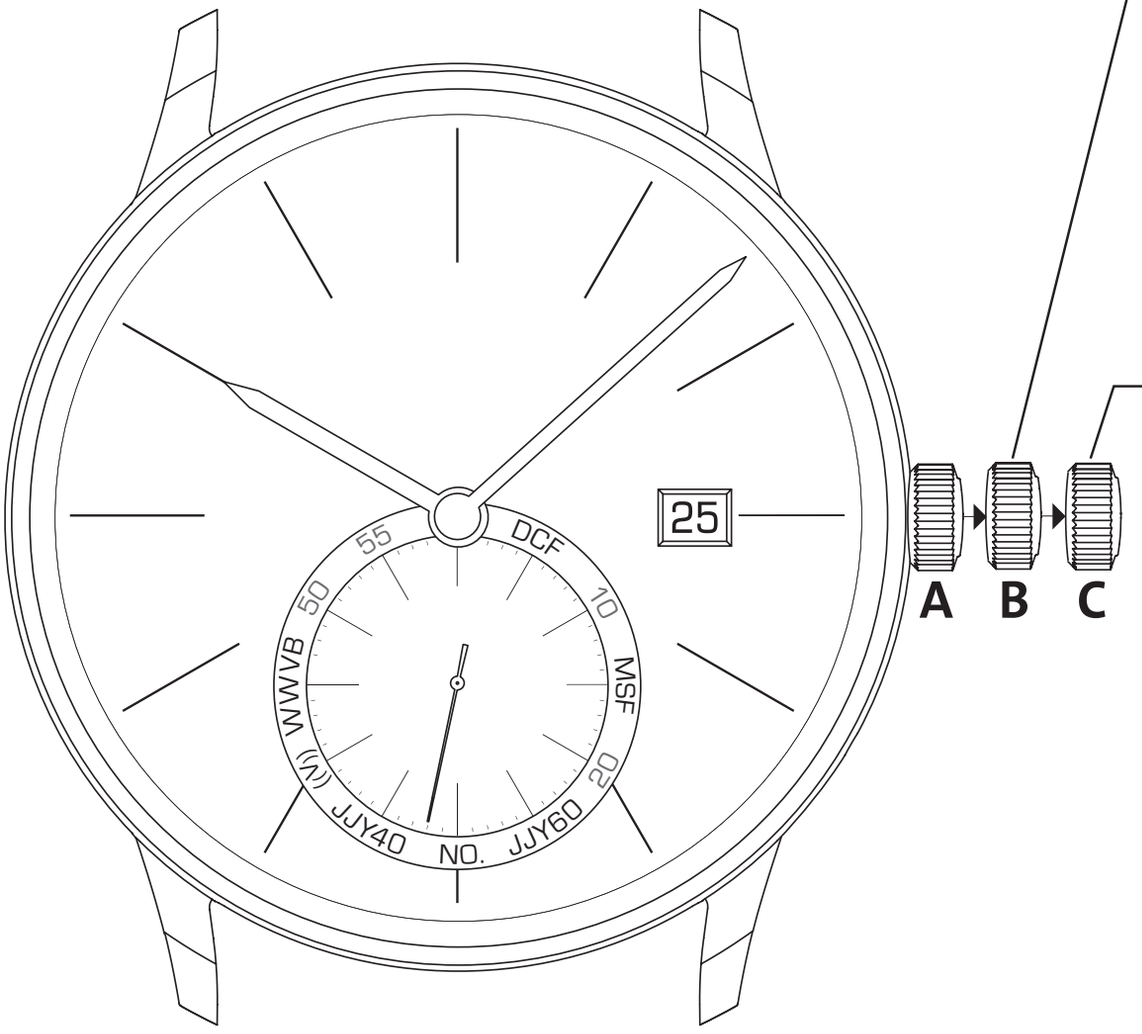
JUNGHANS

GERMANY. SINCE 1861

Junghans MEGA

J101.66

JUNGHANS – DIE DEUTSCHE UHR



Einstellen aller bekannten Zeitzonen

Set all known time zones

Zeitzone stundenweise einstellen

Set time zone by the hour

日本語

Junghans. Live your style.

Junghans社の時計をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。
Junghans時計はいつも特別な存在であり、長い時計製造やデザインの歴史を持っています。そして今でもその使命を沿革して取り込んでいます。1861年シュランベルクのブラックフォレストに成功した物語を始め、それぞれの新しいモデルは大成功となりました。各時計に現れた要素はJunghansが特別な存在であることを証明します：スタイル、情熱、革新的な精神または細部に至るまでの高精度。言い換えると：伝統技巧へ最新の時計技術と刺激的なデザインを組み合わせる。それは正真正銘のJunghansとなります。自分のスタイルで生きる人々への時計であり、当社はお持ち主としてのお客様に心からお祝いを申し上げます!

Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co. KG

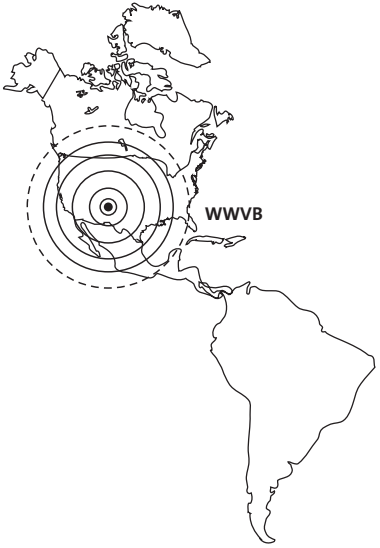
目次 ページ

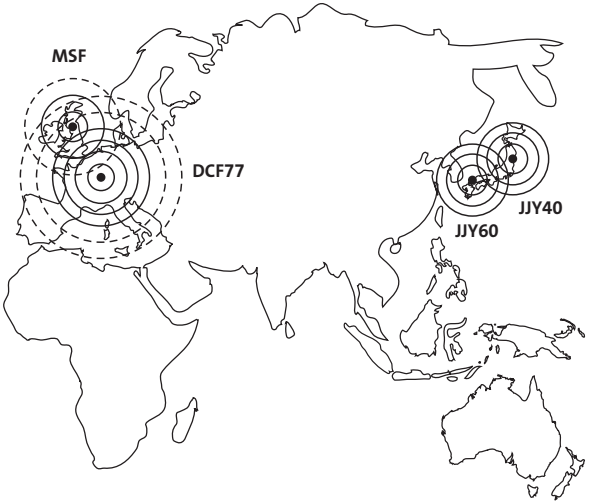
1. 電波テクノロジー 415
2. 機能 421
2.1 ボタンの機能 422
3. 自動受信による時刻の合わせ方 424
4. 受信可のタイムゾーンへ移動する場合の時刻合わせ 427
5. 英国の時刻合わせ 428
6. アメリカの時刻合わせ 429
7. 受信不可のタイムゾーンへ移動する場合の時刻合わせ (手動で時間設定) 430
7.1 Junghans MEGA アプリでの時間設定。 430
7.2 リュウズでの時間設定 431
8. 手動で時刻合わせ 435
9. クオーツモード 436
10. バッテリー変更後のリセット/再起動 441
11. 使用可能/低バッテリーインジケータ 442
12. 取り扱い上の注意 443
13. 製品仕様 444
14. 防水性能にいて 445

1. 電波テクノロジー-それ以上にならない超高精度。

イノベーションを楽しむことと密接に関連して、 Junghansは歴史で3,000件以上の特許を出願になったことを明らかになりました。1956年に、クロノメーターのプロデューサーとして世界第3位になりました。ただし、現状に満足することではなく、よりいい成果をでるようなインセンティブになりました。それで、1970年にドイツで最初のクオーツ時計、また1990年に最初の電波腕時計を開発しました。Junghans電波腕時計は電波テクノロジーによって、世界で最も精確な時計にリンクするため、絶対な精密性が確保されています。ヨーロッパの場合はブラウンシュワイクのフィジカリッシュテクニケンブンデザンスタルトでのセシウム時刻基準です(ドイツ自然科学技術研究所)。英国の場合は、時刻信号がカンブリアのアントホンにある送信機サイトで設置された3つの原子時計から受信され、時間基準はテディントンの国立物理研究所(NPL)に基づいています。日本の場合は、情報通信研究機構 (NICT) という公共行政機関のセシウム時間標準に基づいています。北アメリカの場合は、コロラド州のボールダーで、米商務部に所属するアメリカ国立標準技術研究所(NIST)のセシウム時間標準に基づいています。時刻情報について、パリ郊外のセーヴルにある国際度量衡局(BIPM)にある世界60か所以上の時間研究機関によってチェックされます。スタイリッシュでクラシックなデザインのおかげで、お手に入れたJunghans MEGAは世界で最も精確な時間を持つだけではなく、恐らく最も美しい時計だと思われます。

Time signal transmitters





Junghans MEGAが多周波電波ムーブメントを搭載されます。時計は自動的に下記の時刻信号送信機から受信されます。

– ヨーロッパでは、マインフリンゲンの「DCF77」（フランクフルト・アム・マインの南東 24 km）
– 英国では、カンブリアのアントホンの「MSF」
– 日本では、大鷹鳥谷山の「JJY40」 (国の北東部において東京の近郊)
– 日本と韓国では、羽金山の「JJY60」（日本の南西部において）
– 北アメリカでは、コロラド州（アメリカ合衆国）フォートコリンズにおいてのWWVB

Junghans MEGAはこれら 5 ヶ所の送信局ゾーンに受信条件が良ければ、精確な時刻合わせができます。

天気または環境の影響（雷雨、電子機器、調光器等）で自動時刻合わせが妨げられる場合、Junghans MEGAは、その翌日の同時刻、自動的に時刻合わせをすることになります。コレクターボタンを押したら、手動時刻合わせをいつでも行われます。

Junghans MEGAの場合は、DCF77 と MSF のゾーンで自動的に夏時間と冬時間を切り替えます。異なるタイムゾーンの国へ旅行する場合は、タイムゾーン設定機能を利用して、それぞれ適用される現地時間に、秒に至る精度を持って、簡単に切り替えることができます。

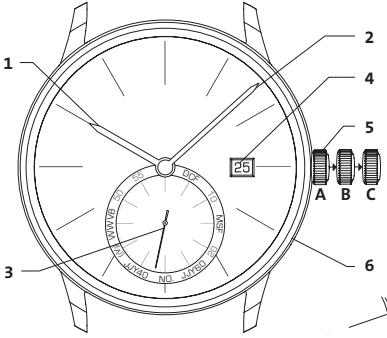
絶対精度を確保する最先端技術

お持ちのJunghans MEGAの電波ムーブメントは絶対的な精度を提供できる電波時間に加えて、最先端の技術を備えています。

- ITC（インテリジェントな時間補正）技術は、1日に1,440回で最新の時刻情報を受信して、秒針の位置を合わせます。さらに、時針と分針の位置は毎日一回、日付の位置は毎月一回の頻度にチェックされます。必要な場合、例えば衝撃や磁場から干渉されても、補正が行われます。
- 秒単位の精確性はSHM（スマートハンドモーション）技術によって保証されます。これによって秒針を半秒ステップの表示になることを実現されます。
- 先進移動機能（AMF）は先端的技術を用いて、秒針、分針、日付表示を制御します。日付/針の動きは時間変更前の数秒に作動されます。その結果は実際の時間と差がないことです。
- 時刻合わせがなくても、表示される時間は常に非常に正確である。クオーツモードでの時間偏差範囲は最小化されて、年差 +/-8 秒しかありません。通常着用の場合、時計がその通り年間偏差量は最大 8 秒です。
- Junghans MEGA は万年暦を持っています。成功になる時刻合わせに対し、補正する必要はありません。時刻の受信がない場合、万年暦は 2400年までクオーツモードで実行されます。

- リュウズを利用して、秒まで精確的なタイムゾーン設定が簡単に行われます。手動設定処理中に、秒単位の精度は失われません。
- Junghansのオートスキャン機能は時刻信号送信機を自動的に検索することを実現されます。

2. 機能



1 時針
2 分針
3 秒針
4 日付表示
5 リュウズ
6 コレクターボタン
機能を操作するには、時計に付属しているコレクターピンを使用してください。

2.1 ボタンの機能

補正ボタンを操作するには、付属の補正ピンのみを使用してください。
補正ボタンを押すと、次の機能が起動できます。

手動時間同期

5つの時間信号トランスミッタのうちの1つの受信領域にいる場合は、いつでも手動で時刻同期を行うことができます。 これを行う場合、補正ボタンをクラウン位置Aで3秒以上押してください。手動時間同期の詳細については、第8章を参照してください。

スリープモード

スリープモードは、エネルギー効率の高いモードでバッテリ寿命が延長できます。時計を長時間使用しない場合は、スリープモードを有効にしてください。これを行うには、補正ボタンをクラウン位置Aで9秒以上押してください。スリープモードでは、時計は10:08,32秒と日付25の時刻を表示します。時計を再起動するには、補正ボタンを短く押してください。

リセット機能

Junghans MEGAに正しい時刻や日付が表示されない場合は、リセット機能で修正できます。 ただし、リセットを実行する前に、タイムゾーンが変更されているか（第7.2章を参照）、時計がクォーツモードになっているかどうかを確認してください（第9章を参照）。
時計の近くに電子妨害源がないことを確認してください。 クラウンをCの位置に引っ張り、補正ボタンを16秒以上押し続けます。 秒針は最初に短時間後退し、その後前進します。 秒針、分針、時針は12時の位置に移動し、日付は „1“に回転します。クラウンをAの位置に戻します。ポジションに達すると、最大30分間の時間同期が開始されます。受信が成功すると、時計は現在の時刻に自動的に調整されます。信号が受信できない場合（受信できなかった場合、秒針が5秒ジャンプします）、妨害するものがない場所で、手動で時間を同期させてください（補正ボタンを3秒以上押してください）。電波受信がない地域では、Junghans MEGAアプリケーション（第7.1章を参照）またはクォーツモード（第9章を参照）を使用してJunghans MEGAを設定します。

3. 自動時刻合わせ

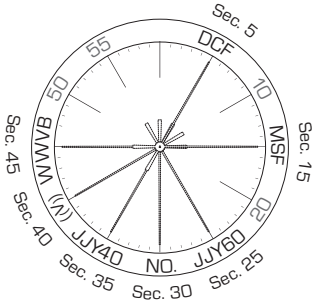
腕時計の自動時刻同期は常に設定されている現地時間に基づいて夜間に行われます。

EU – DCF 77:	およそ 2:00 a.m. (CET) / 3:00 a.m (CEST)
UK – MSF:	およそ 2:00 a.m. (CET) / 3:00 a.m (CEST)
JP – JJY40 と JJY60:	およそ 2:00 a.m.
US – WWVB:	およそ 2:00 a.m.

同期プロセスの開始に秒針は40秒の位置に移動し、同期中（最大15分）または手動で終了するまではその位置に留まります。同期中は分針と時針も停止しこの位置に留まります。（最大15分）。成功に時刻合わせをしてから、時計自体は受信された時間通りに設定されます。コレクターボタンを押すと自動時刻合わせを終了させます。プロセスは終了後または受信されていない場合、時計は内部に記憶されている時間通り設定されます。

受信インジケーター

お持ちの時計の受信インジケーターは、いつでも受信状態に関する情報を提供されます。この情報にアクセスようにコレクターボタンをリュウズの位置Aに 3 秒以内に押し続けます。4 秒間の場合、秒針は現在受信状態を示しています。



Sec. 5 = DCF 77.5 は最後に受信されたもの
Sec. 15 = MSF は最後に受信されたもの
Sec. 25 = JJY 60 は最後に受信されたもの
Sec. 30 = 時刻合わせ最後の試みに、時計は受信できなかったため時刻合わせが行われませんでした。次の合わせまで、時計はクオーツ時計に基づいてムーブされます。
Sec. 35 = JJY 40 は最後に受信されたもの
Sec. 40 = 時計が受信の段階で、今は時刻情報にアクセスしようとしています。
Sec. 45 = WWVB は最後に受信されたもの

日付は常に自動的に変わり、30日から翌月の1日に変わるのもそうです。うるう年には2月29日が自動に考慮されています。内蔵のタイムメモリーのおかげで時刻同期をしなくてもいつでもあなたの時計はクォーツ時計の精度で動き続けるでしょう。（年に±8秒）。

ご注意:順調な時刻受信を確保するように、変圧器を使用している電子機器・携帯電話・コードレス電話またはライトの近所に時計の着用と放置をしないでください。

4. 時刻信号を受信できる他のタイムゾーンに移動

別の受信エリアに移動する場合、次の時刻信号を受信されるまで時計は自動時間と送信機との時刻合わせが行われません。最良な受信状況を確保するため、現在地に合わせる最適なタイムゾーンを設定することをお勧めします。原因としては、時刻合わせの試行は通常時計に設定されている現地時間に基づき、午前2時前後から始まります。タイムゾーンが間違っている場合、時計は最初に設定されていた時刻信号の通り時刻合わせをされます。それ以降は、他の時刻信号送信機はオートスキャンによってチェックされます。

例えば：ヨーロッパから日本へ移動する場合。あなたの時計はCETを保存されたが、日本時間の午前１０時にCETに時刻合わせをします。ただし、その時は夜間よりはるかに電磁気ノイズが多いので、最適受信のタイミングではありません。

タイムゾーンが正しく設定されていると、適切な送信機周波数が最優先でチェックされます。そしたら送信機チェックの時間長さとパワー消耗が減少されます。

時計が受信されない場合は、手動で時刻合わせを実行してください（セクション８にご参照ください）。

5. 英国の MSF 時刻信号機は下記の特例に適用されます。

英国では、1回限り手動でタイムゾーンを設定する必要があります。DCF と MSF の送信信号が重複しますので、手動で時刻合わせをして、それともJunghans MEGAをリセットしたらDCF時間のみ示します。

a) リュウズを位置Cに引いてください。
b) リュウズを反時計回りに回したら時間を英国夏時間/グリニッジ標準時間に設定されます。

このプロセスの間、秒針は貴方が設定した時間を表示します:
秒針 0 = 夜中
秒針 1 = 1 a.m.
秒針 18 = 6 p.m.,等
秒針 23 = 11 p.m.
クラウンを回したら、時針と分針がすぐ貴方の設定と一致するようになります。プロシージャの間に日付も自動的に調整されます。

c) リュウズを位置Aに戻してプロセスを終了させます。
将来のいずれの時期に時刻合わせをしてもこの設定時間を保存されています。

6. 北アメリカのWWVB時間信号送信機は下記の特例に適用されます。

Junghans MEGAは時刻合わせが成功したら太平洋標準時を受信されます。米国には異なるタイムゾーンが存在し、州によって夏時間と冬時間の切り替えがあるため、手動でタイムゾーンを設定する必要があります。

a) リュウズを位置Cに引いてください。
b) リュウズを右回りまたは左回りに、時間単位で時間を設定されます。

アメリカのタイムゾーン
Pacific Standard Time
Mountain Standard Time + 1h
Central Standard Time + 2h
Eastern Standard Time + 3h

このプロセスの間、秒針は貴方が設定した時間を表示します:
秒針 0 = 夜中
秒針 1 = 1 a.m.
秒針 18 = 6 p.m.,等
秒針 23 = 11 p.m.
クラウンを回したら、時針と分針がすぐ貴方の設定と一致するようになります。プロシージャの間に日付も自動的に調整されます。

c) リュウズを位置Aに戻してプロセスを終了させます。

将来のいずれの時期に時刻合わせをしても、設定されてるタイム ゾーンと夏/冬時間を保存されています。

7. 他の受信されないタイムゾーンへ移動(手動で時間設定)

7.1. Junghans MEGA アプリでの時間設定：

Jundhans MEGA APPを使用することでアプリに表示される時間をあなたの腕時計に転送することができます。これを行うにはアプリをダウンロードして、指示に従うだけです。

7.2 リュウズでの時間設定：

時刻信号受信のないタイムゾーンには、現地時間を手動で設定することができます。

時間単位で時間を設定します。

a) リュウズを位置Cに引いてください。

b) リュウズを時計回りまたは反時計回りに、時間単位で時間を設定できます。

このプロセスの間、秒針は貴方が設定した時間を表示します:
秒針 0 = 夜中
秒針 1 = 1 a.m.
秒針 18 = 6 p.m.,等
秒針 23 = 11 p.m.
クラウンを回したら、時針と分針がすぐ貴方の設定と一致するようになります。プロシージャの間に日付も自動的に調整されます。

c) リュウズを位置Aに戻してプロセスを終了させます。

すべての既知のタイムゾーンを設定します：

Junghans MEGAはすべての既知のタイムゾーンが（2018/01/01)既に格納されています。

a) リュウズを位置Bに引いてください
b) リュウズを時計回りまたは反時計回りに、すべての既知のタイムゾーンを設定できます

このプロセスの間、秒針は貴方が設定した時間を表示します (イラスト参照):
秒針 0 = 夜中
秒針 1 = 1 a.m.
秒針 18 = 6 p.m.,等
秒針 23 = 11 p.m.
15分単位または30分単位で設定されているタイムゾーンがいくつかあります（次の表を参照）。クラウンの1ターンは1タイムゾーンを進め、秒針は次のフル時間だけで進めます。

クラウンを回したら、時針と分針がすぐ貴方の設定と一致に動きます。プロシージャの間に日付も自動的に調整されます。

c) リュウズを位置A に戻してプロセスを終了させます。

既知のタイムゾーン(2018/01/01)

市	タイム ゾーン-リュウズの位置 B	タイム ゾーン-リュウズの位置 C
London	+/– 00	+/- 00
Frankfurt / Paris	+ 01	+ 01
Athen	+ 02	+ 02
Moscow	+ 03	+ 03
Tehran / Iran	+ 03.30	
Dubai / UAE	+ 04	+ 04
Kabul	+ 04.30	
Karachi	+ 05	+ 05
Calcutta	+ 05.30	
Kathmandu	+ 05.45	
Dhaka	+ 06	+ 06
Rangoon	+ 06.30	
Bangkok	+ 07	+ 07
Beijing	+ 08	+ 08
Pyongyang	+ 08.30	
Eucla (Aus)	+ 08.45	
Tokyo	+ 09	+ 09
Adelaide (Aus)	+ 09.30	
Sydney (Aus)	+ 10	+ 10
Lord Howe Island	+ 10.30	
Nouméa	+ 11	+ 11
Norfolk Island	+ 11.30	
Auckland	+ 12	+ 12
Chatham Islands	+ 12.45	

市	タイム ゾーン-リュウズの位置 B	タイム ゾーン-リュウズの位置 C
Apia	+ 13	
Chatham - SZ	+ 13.45	
Kiritimati	+ 14	
Baker Island	– 12	
Midway Islands	– 11	– 11
Hawaii	– 10	– 10
Marquesas Islands	– 09.30	
Anchorage US Alaska	– 09	– 09
US Pacific	– 07	– 07
Denver US Mountain	– 08	– 08
Chicago US Central	– 06	– 06
New York US Eastern	– 04	– 04
US Atlantic	– 05	– 05
St. John's	– 03.30	
Rio Brasilien	– 03	– 03
South Georgia	– 02	– 02
Azores	– 01	– 01

上記の表に示している情報はUTC（協定世界時）ベースのことをご注意ください。夏時間の場合に1時間の変更をします。

時刻合わせが30日間も行われなかった場合、、バッテリーのパワーを節約するためにレシーバーが非アクティブになります。時刻信号を受信されるタイムゾーンに戻す場合、改めて受信されるように手動で時刻合わせをする必要があります。

8. 手動で時刻合わせ

貴方は5つの時間信号送信機の1つの送信

エリアにいると、いつでも手動で時刻同期を行うことができます-。**これを実現するために、クラウン位置Aの補正ボタンを3秒以上押してください。秒針が40秒の位置に進み、時針と分針が現在の位置にとどまります。秒針が40秒の位置に達し次第に受信フェーズが始まるようになります。時間同期を確実にするための最良の条件を確保するため、時計は身に付けない、そして可能であれば、電気器具、携帯電話、コードレス電話または変圧器で操作される照明から遠ざけられてください。**

時間信号が受信されると、針は自動的に時間信号送信機の現地時間へ移動します。最も最近同期された時間信号送信機との時間同期が不可能な場合、Junghans Autoscanは自動的に他のすべての送信機をスキャンして時間信号を受信します。5つの送信機の中の1つで時間同期ができない場合は、受信試行は15分後に中止されます。 次の同期まで、貴方の時計はクォーツ時計に基づいて動作します。秒針が40秒の位置に達すると、手動の時刻同期は途中で中止することができます。補正ボタンを短く押すと、分針と時針が元の時刻に戻ります。

9. クオーツモード

5つの時刻信号送信機のいずれかの範囲以外に長い時間が滞在している場合、Junghans MEGA アプリまたはクオーツモードを利用して時計を設定することをお勧めします。これによって、時計が受信されることを避けられ、バッテリーの電力を節約させます。

クオーツモードには、すべての時刻情報を手動で設定されます。リュウズの位置 B に日付が設定されます(うるう年/年、月、日)、リュウズの位置Cには時間(時、分、秒)が設定されます。

手動で時間を設定する場合、下記の手順に従ってください：

先ずは年を設定**してください**。

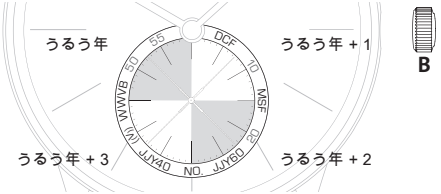
a) リュウズを位置Bに引いてください

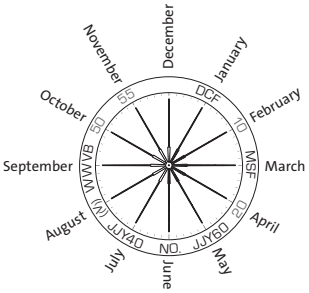
時計がすでにクオーツモードになっている場合は、ステップd）に続行してください

b) 秒針は現在の時間を示します（秒1 - 23）。

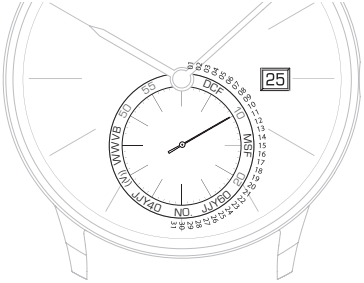
c) 補正ボタンを3秒以上押します。秒針が最初に少し後退してから前進し、うるう年の設定で止まります。うるう年を表示するために、小計は4つの工リアを分けれます。（図を参照してください。例：2016はうるう年、2018はうるう年＋2です）。

d) リュウズを時計回りまたは反時計回りに回すと、それに応じて針が次のセグメントへ前または後に移動されます。





月の設定にアクセスするには、クラウンの位置Bを維持したまま補正ボタンを短く一回押してください。
このプロセスでは、月は秒針で表示されます。
各5秒目のインデックスは1か月に対応します（秒5 = 1月、秒10 = 2月など。）クラウンを回すと針が前後に移動し、選択した月を表示します。



日付を設定するために、クラウンの位置Bを維持したままもう一度補正ボタンを短く押してください。
日付は秒針で表示されます。1秒目から31秒目までの2番目の増分は方向づけに役に立てます（イラスト参照：秒針は秒10を指します。つまり、これは日付としての月の10番目の表示です）。
クラウンを時計回りまたは反時計回りに回すと、それに応じて秒針が前後に動きます。日付表示は秒針による設定に従い、選択した日付を表示します。
手順を終了した場合、りゅうずを位置Aに押し戻してください。

時刻設定：

a) リュウズを位置Cに引いてください。時計がすでにクオーツモードになっている場合は、ステップd) に続行してください。
b) 秒針が現在時針に表示されている時間に移動して停止します。(図を参照)
秒針 0 = 夜中
秒針 1 = 1 a.m.
秒針 18 = 6 p.m.,等
秒針 23 = 11 p.m.
c) コレクターボタンを3秒以上に押し続けてください。
d) リュウズを回して、分針でご希望の時間を設定されます。
一回リュウズが回して、分針が1つのステップを動かせます。時計回りの動きは、時計回り方向のステップを開始し、反時計回りの動きは、反時計回りの方向のステップを動作させます。
手動が1つのステップのみに発生することをご注意ください。
針が高速的に移動モードを利用して、より迅速に時間を設定することが実現されます。短時間にコレクターボタンを押したら行われます。針は最後に移動した方向、すなわち時計回りまたは反時計回りに移動し始まります。高速移動を停止させるためにコレクターボタンをもう一度押してください。
f) 設定を完了する場合、竜頭を押し、位置Aに戻してください。秒針は12時の位置に付けて、移動させます。

メモ: 時間を秒に至る精確性を示すように、リュウズが60秒目の位置Aに合わせる参考クロックを使用して、次の一分間を設定することをお勧めします。

クオーツモードでは時計は自動的に受信されません。

短時間にコレクターボタンを押して、時計がクオーツモードかどうかを確認させます。クオーツモードでは、秒針は 1 分 5 秒間ごとにジャンプします。時刻信号の受信を有効になるように、手動で時時刻合わせが必要です (セクション8にご参照ください) 。

10. バッテリー交換後の再起動(リセット)

バッテリーの交換後、リセットが自動的に実行されます。バッテリーを挿入すると、すべての針が12時の位置に移動し、日付として「1」が表示され、時計が受信プロセスを開始します。通常通り受信されてから、時計は自動的に正しい時刻に設定されます。

時計が30分で時刻信号を受け取れない場合、電池のパワーを節約するために受信プロセスが終了させます。その場合、秒針が5秒ジャンプします。別の時間信号に受信される　場合、手動時刻合わせを実行してください (セクション8) 。

いずれかの送信機の範囲外に、時計を現在の時刻に手動で設定されます。手順は、セクション9-「クオーツモード」にご参照ください。また、Junghans MEGAアプリ (セクション7.1)を利用して、時間を設定することも可能です。

11. 使用可能/ローバッテリー インジケーター

時計をいつでも使用できる状態に保つように、電源を切ることをお避けてください。定期的に時計をチェックして、バッテリーの電力が十分にあることも確認する必要があります。十分な電力が持ってない場合（周りの温度が低い場合、電池の性能も低下になる等）、秒針は2秒ごとに移動します(ローバッテリーインジケーター)。バッテリーの性能を回復できない場合（例えば、周囲温度を上げる等）、バッテリーを交換するために7日以内にユンハンス専門小売店、それともユンハンスサービスセンターに送ってください。

12. ご注意

外部影響によって防水性が損なわれることがあります。状況によっては湿気が侵入することもあります。その原因で、定期的にお客様担当のユンハンス技術者に点検を依頼することをお勧めいたします。これ以外の調整作業や時計ベルトの修理も、担当のユンハンス技術者にお任せください。本時計には、当社工房で何度も検査を繰り返した高品質ベルトが取り付けられています。ベルトの交換をご希　望になる場合は、同品質のベルト（望ましい当社正規品のベルト）にお取り換えください。時計やベルトに付着した汚れは、乾いた布または軽く湿らせた布で拭き取ることができます。

ご注意:化学洗浄剤（ベンジンや塗料用　シンナー等）のご使用を避けてください。表面に傷つく恐れがあります。

13. 製品仕様

受信状況に影響されない状態での時間設定	約3-15分間
タイムゾーン調整範囲(UTC)	+ 14 / – 12時間
CETとCESTの切り替え	自動的に
DCF77とMSFの時刻合わせ 時刻信号送信機	約午前2時または午後 3 時
時刻信号送信機との時刻合わせ JJY40, JJY60, WWVB	約午前2時
作動温度	0°から+50°Cまで
電池の種類: 一般的なバッテリーの寿命:	CR1025 約2年

バッテリーは法令に従い、適切な処分をご確認ください。

技術的な修正対象となります。

適合宣言書

時計工房ユンハンス有限合資会社(Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co. KG)、本腕時計が1999/5/EC指令の基本的要件およびその他の関連規定に適合していることをここに宣言いたします。
当適合宣言書は、info@junghans.de 宛てにご請求いただけます。

14. 防水性について

表示名	使用例				
	手洗い 雨 水しぶき	シャワー	入浴	水泳	素潜り
表示名ナシ	素潜り	不可	不可	不可	不可
3 BAR	可	不可	不可	不可	不可
5 BAR	可	不可	可	不可	不可
10 BAR	可	可	可	可	不可

上記の「3 – 10 BAR」状態は、工場出荷時の時計のみに適用されます。 外部からの影響によって防水性が低下することがあります。定期的に防水性の検査を依頼してください。